

藤沢市若者世代の結婚・子育てに関する意識調査報告書

2024年（令和6年）8月

藤沢市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の実施概要	1
(1) 実施概要	1
(2) 集計結果の表示方法・留意事項	2
第2章 アンケート調査結果	3
1 回答者の属性・基本情報について	3
(1) 回答者の年齢	3
(2) 回答者の性別	3
(3) 回答者の婚姻状況	4
(4) 子どもの有無・人数	4
(5) 現在の仕事	5
2 日頃の意識と生活について	6
(1) 最近の生活の満足度	6
(2) 居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）	6
(3) 自分の思いや気持ちについて	7
3 結婚、子育て、仕事に関する意識について	9
(1) 子育てと仕事との関係で理想の生き方	9
(2) 子育てと仕事との関係で実際になりそうな生き方	9
(3) 将来結婚しないと思う理由	10
(4) 子どもを希望しない理由	11
(5) 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっているか	12
(6) 少子化への対応として政府や地方自治体に実施して欲しい政策	13
4 調査結果のまとめ	16
(1) 回答者の属性・基本情報について	16
(2) 日頃の意識と生活について	16
(3) 結婚、子育て、仕事に関する意識について	17

第 1 章 調査の概要

1 調査の実施概要

(1) 実施概要

ア 調査の目的

この調査は、藤沢市の若者世代の結婚、子育て、生活満足等の意識に関する状況をアンケート調査により把握するものである。本調査は、令和7年度から始まる（仮称）藤沢市こども計画の策定や施策を検討することを目的として実施した。

イ 調査名称

藤沢市若者世代の結婚・子育てに関する意識調査

ウ 調査対象

住民基本台帳から無作為に抽出した、令和6年4月時点で15～39歳の市民6,000人

エ 調査実施期間

令和6年6月14日（金）から7月1日（月）まで

オ 実施方法

調査依頼状を郵送にて配布、インターネット上に設置した専用フォームにアクセスしてアンケート調査に回答（オンライン回答）

カ 回収状況等

配布数	回収数	有効回答数※	有効回答率
6,000件	1,327件	1,320件	22.0%

※回答のうち、無効回答を除いた件数

(2) 集計結果の表示方法・留意事項

- 図表中の（回答数：数字）はその設問についての有効回答数（集計対象件数）を示している。
- 調査結果の比率は、その設問の有効回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- 単一回答（1つだけ選択する回答形式）の設問について、回答の比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、各選択肢の回答に関する数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（あてはまるものすべてを選択する回答形式）の設問について、回答の比率（%）は、その質問の回答者数を分母として算出しているため、すべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。

第2章 アンケート調査結果

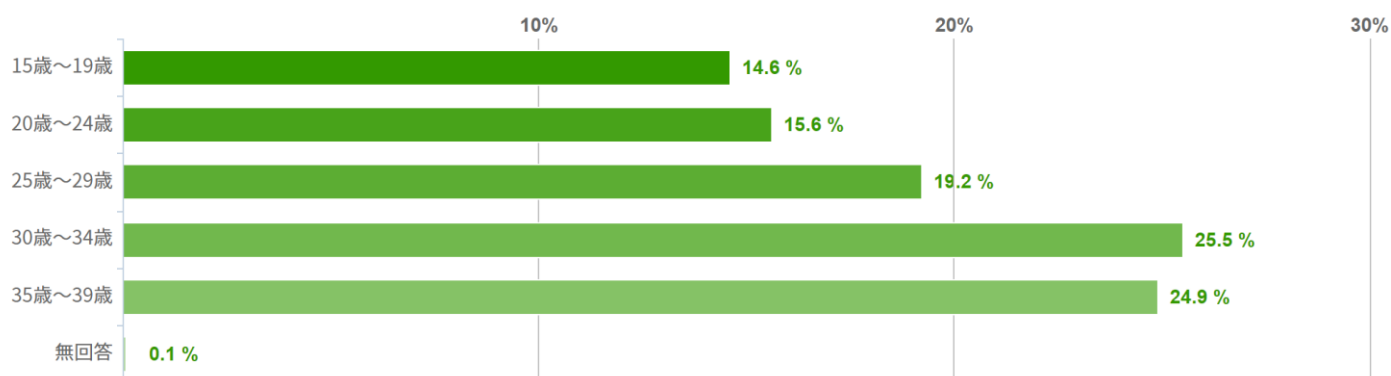
1 回答者の属性・基本情報について

(1) 回答者の年齢

回答者の年齢について、「30歳～34歳」が最も多く25.5%、次いで、「35歳～39歳」が24.9%、「25歳～29歳」が19.2%となっている。

問1【すべての方におたずねします】あなたの年齢にあてはまるものを選んでください。※令和6年4月1日時点の年齢を選んでください。(1つだけ) (回答数:1,320件)

図表 2-1 回答者の年齢



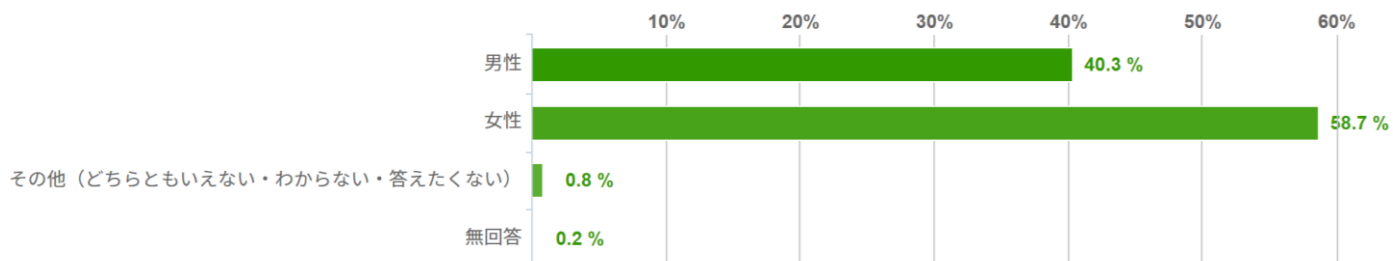
(2) 回答者の性別

回答者の性別について、「女性」が58.7%、「男性」が40.3%となっている。

問2【すべての方におたずねします】回答者の性別をお答えください。(1つだけ)

(回答数:1,320件)

図表 2-2 回答者の性別



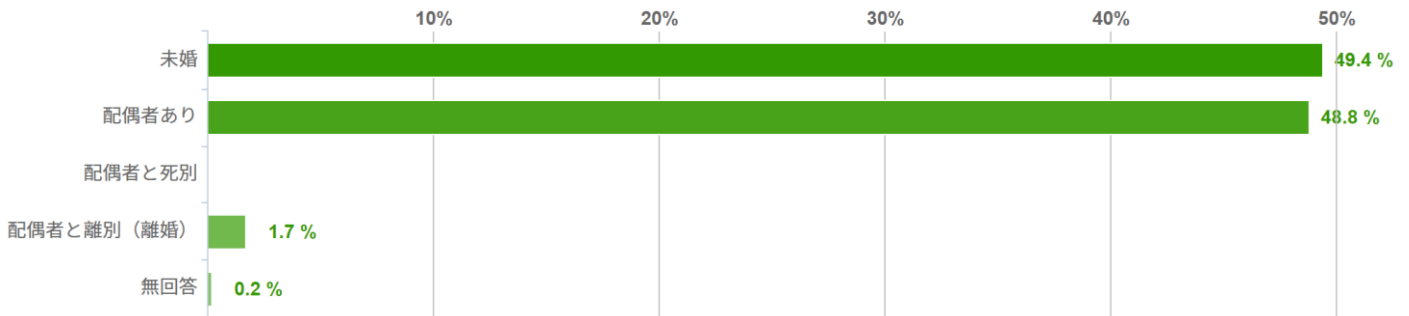
(3) 回答者の婚姻状況

回答者の婚姻状況について、「未婚」が最も多く49.4%、次いで「配偶者あり」が48.8%となっている。

問3【すべての方におたずねします】あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者あり」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある場合を含めます。(1つだけ)

(回答数:1,320件)

図表 2-3 回答者の婚姻状況



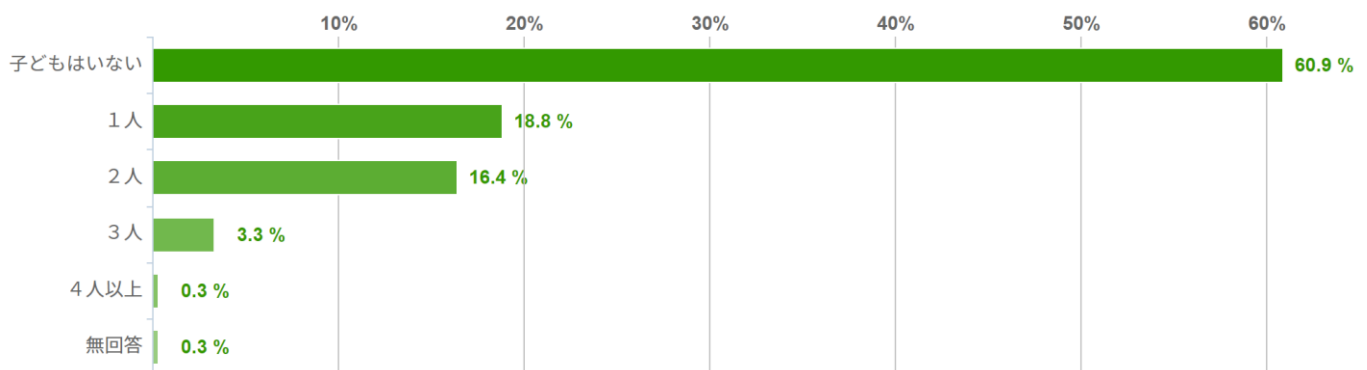
(4) 子どもの有無・人数

子どもの有無と、子どもがいる場合にその人数を尋ねたところ、「子どもはいない」が最も多く60.9%、次いで、「1人」が18.8%、「2人」が16.4%となっている。

問4【すべての方におたずねします】あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。別居しているお子さんを含めて、当てはまる選択肢をお答えください。(1つだけ)

(回答数:1,320件)

図表 2-4 子どもの有無・人数



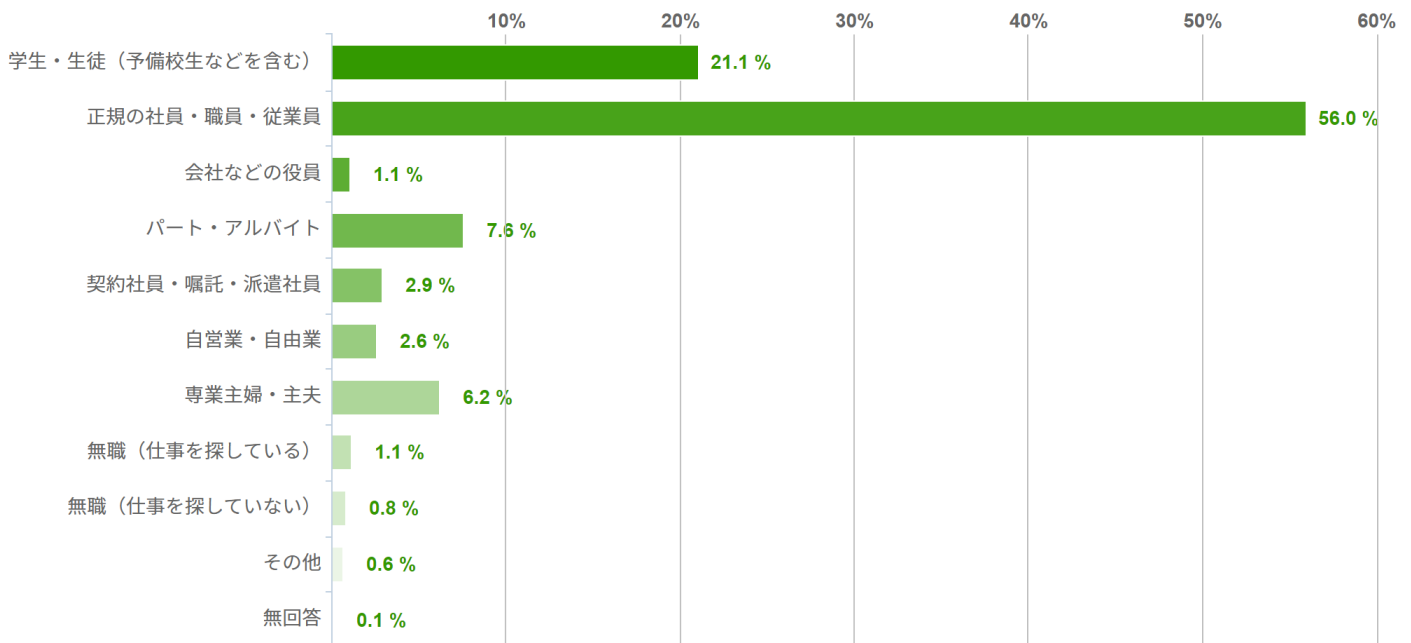
(5) 現在の仕事

回答者の現在の仕事を尋ねたところ、「正規の社員・職員・従業員」が最も多く 56.0%、次いで、「学生・生徒（予備校生などを含む）」が 21.1%、「パート・アルバイト」が 7.6%となっている。

問5【すべての方におたずねします】あなたの現在の仕事をお答えください。複数の選択肢にあてはまる場合は、最もあてはまる選択肢をお答えください。育児休業中の方は、休業に入る前の仕事についてお答えください。（1つだけ）

(回答数:1,320 件)

図表 2-5 現在の仕事



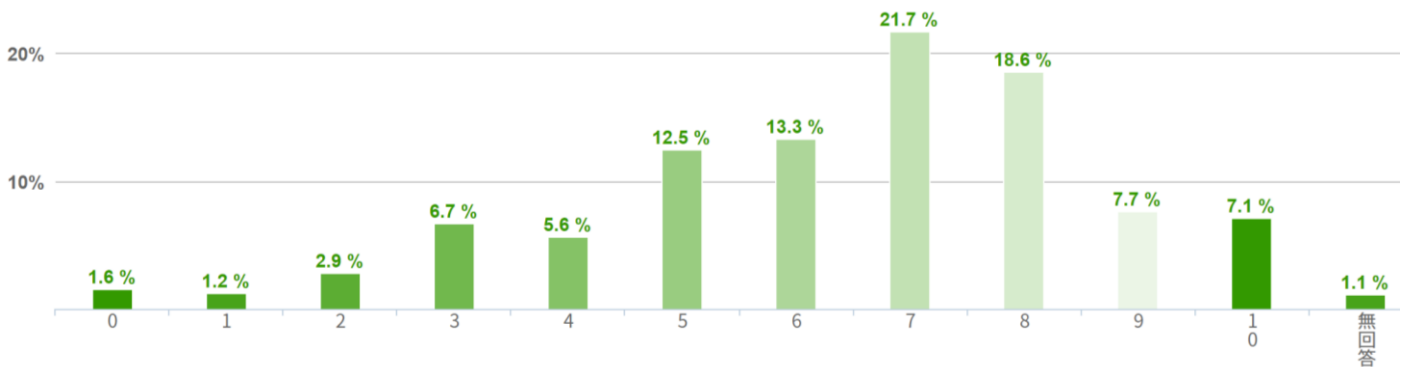
2 日頃の意識と生活について

(1) 最近の生活の満足度

回答者に最近の生活の満足度を「0（まったく満足していない）」から「10（十分に満足している）」の11段階で尋ねたところ、0から4と回答した割合（生活満足 低位と定義）は18.0%、5か6と回答した割合（生活満足 中位と定義）は25.8%、7から10と回答した割合（生活満足 高位と定義）は55.0%となっている。

問6【すべての方におたずねします】あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字を選んでください。(1つだけ) (回答数:1,320件)

図表 2-6 最近の生活の満足度

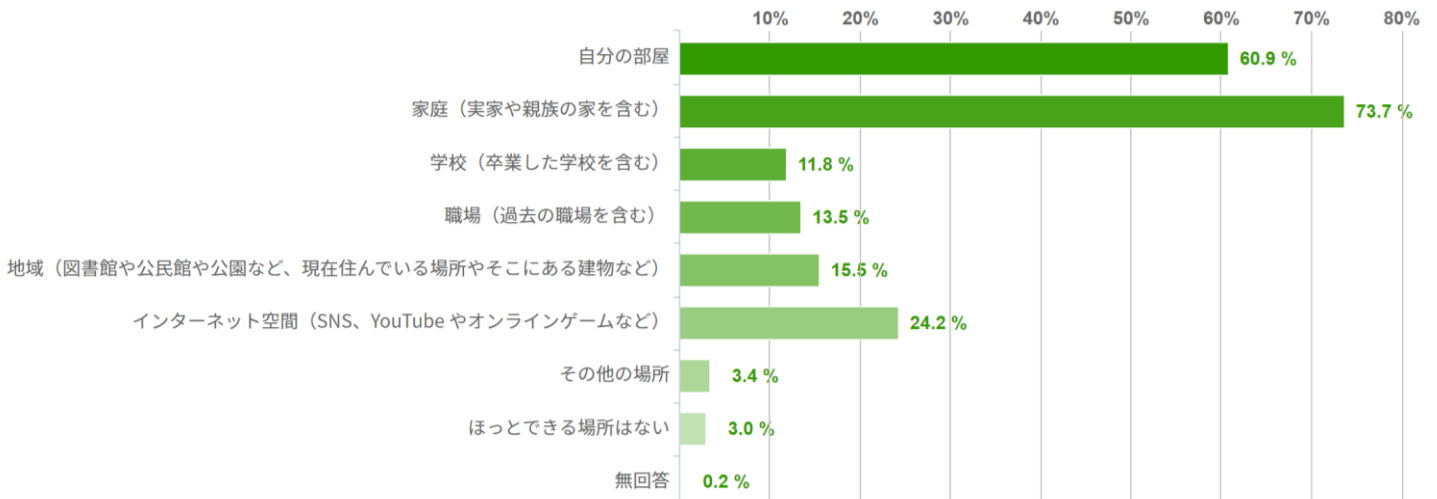


(2) 居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）

回答者が居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）と感じる場所について尋ねたところ、「家庭（実家や親族の家を含む）」が最も多く73.7%、次いで、「自分の部屋」が60.9%、「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」が24.2%となっている。なお、「ほっとできる場所はない」と回答した割合は3.0%となっている。

問7【すべての方におたずねします】次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。(いくつでも選択) (回答数:1,320件)

図表 2-7 居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）



(3) 自分の思いや気持ちについて

ア 自分のことが好きだ

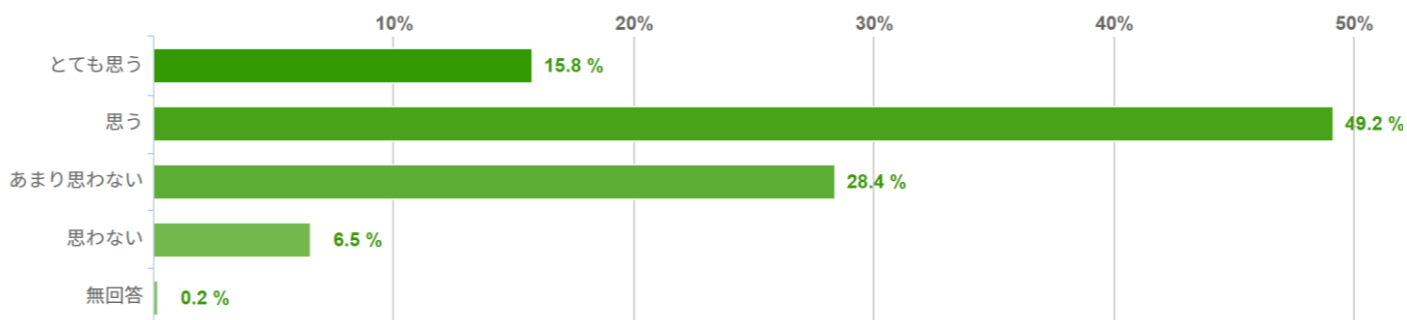
回答者自身について「自分のことが好きだ」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が15.8%、「思う」が49.2%となっている。

問8-1【すべての方におたずねします】あなたの思いや気持ちについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。それぞれの項目について、もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

自分のことが好きだ(それぞれの項目で1つ)

(回答数:1,320 件)

図表 2-8 自分のことが好きだ



イ 自分の将来が楽しみ

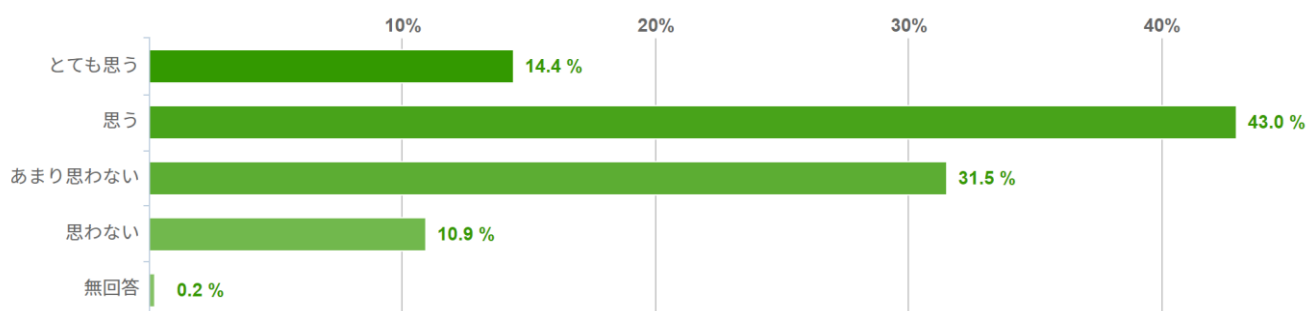
回答者自身について「自分の将来が楽しみだ」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が14.4%、「思う」が43.0%となっている。

問8-2【すべての方におたずねします】あなたの思いや気持ちについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。それぞれの項目について、もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

自分の将来が楽しみ(それぞれの項目で1つ)

(回答数:1,320 件)

図表 2-9 自分の将来が楽しみ



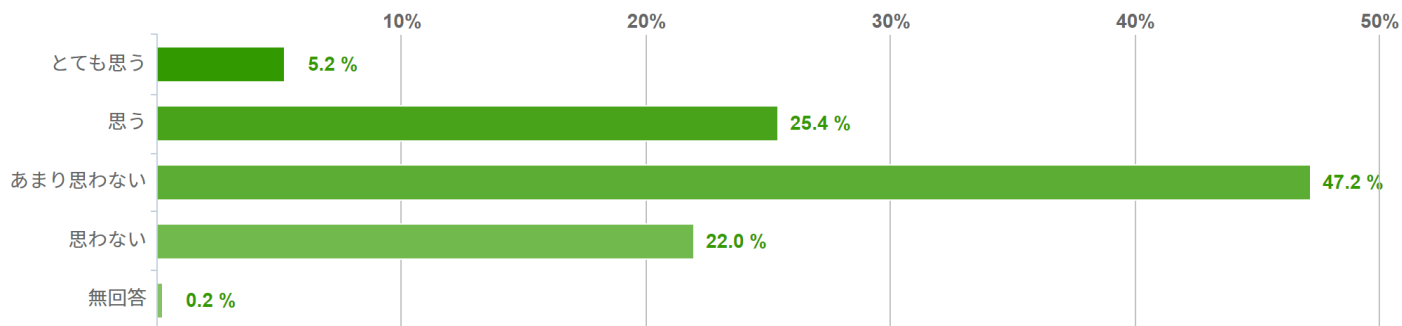
ウ 孤独だと感じることがある

回答者自身について「孤独だと感じることがある」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が5.2%、「思う」が25.4%となっている。

問8-3【すべての方におたずねします】あなたの思いや気持ちについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。それぞれの項目について、もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

孤独だと感じることがある(それぞれの項目で1つ) (回答数:1,320件)

図表 2-10 孤独だと感じることがある



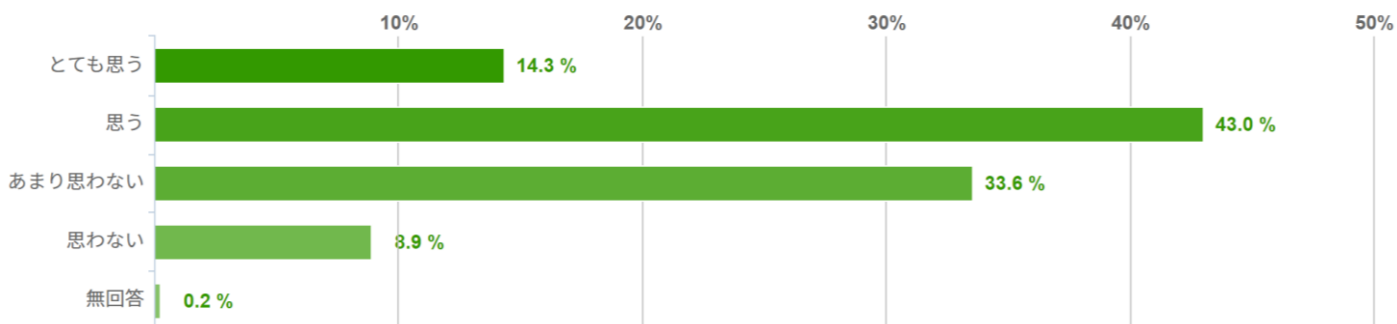
エ 自分は価値のある人間だと思う

回答者自身について「自分は価値のある人間だと思う」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が14.3%、「思う」が43.0%となっている。

問8-2【すべての方におたずねします】あなたの思いや気持ちについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。それぞれの項目について、もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

自分は価値のある人間だと思う(それぞれの項目で1つ) (回答数:1,320件)

図表 2-11 自分は価値のある人間だと思う



3 結婚、子育て、仕事に関する意識について

(1) 子育てと仕事との関係で理想の生き方

子育てと仕事との関係で理想の生き方を尋ねたところ、「結婚し、子どもを持ち、仕事を続ける」が最も多く 52.6%、次いで、「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 20.9%、「結婚する（パートナーを持つ）が子どもは持たず、仕事を続ける」が 9.3%となっている。

問9【すべての方におたずねします】子育てと仕事との関係で、あなたの理想の生き方は次のどれですか。最も近いと思われるものを1つだけ 選んでください。(1つだけ) (回答数:1,320 件)

図表 2-12 子育てと仕事との関係で理想の生き方



(2) 子育てと仕事との関係で実際になりそうな生き方

子育てと仕事との関係で実際になりそうな生き方を尋ねたところ、「結婚し、子どもを持ち、仕事を続ける」が最も多く 51.8%、次いで、「結婚せず（パートナーを持たず）、仕事を続ける」が 19.7%、「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 13.9%となっている。

問10【すべての方におたずねします】子育てと仕事との関係で、理想は理想として、実際になりそうな生き方は次のどれですか。最も近いと思われるものを1つだけ 選んでください。(1つだけ) (回答数:1,320 件)

図表 2-13 子育てと仕事との関係で実際になりそうな生き方

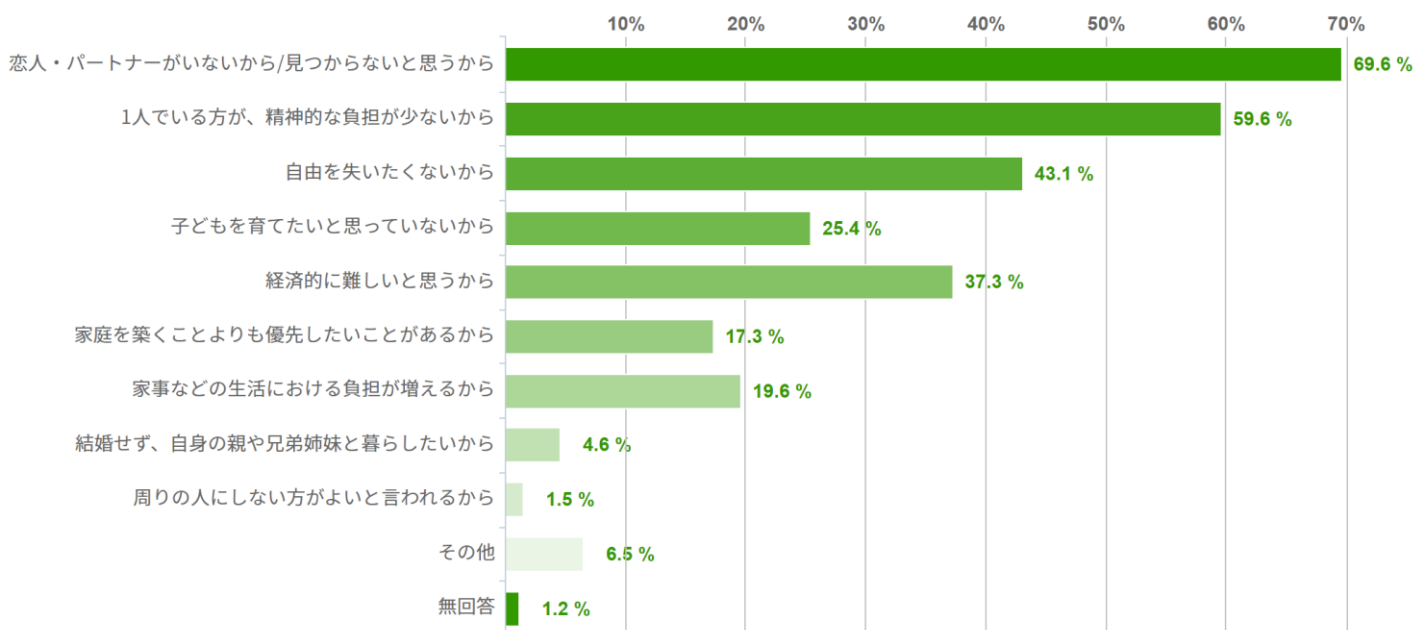


(3) 将来結婚しないと思う理由

実際になりそうな生き方で、結婚せず（パートナーを持たず）、仕事を続けると回答した方に、将来結婚しないと思う理由について尋ねたところ、「恋人・パートナーがないから/見つからないと思うから」が最も多く 69.6%、次いで、「1人である方が、精神的な負担が少ないから」が 59.6%、「自由を失いたくないから」が 43.1%となっている。

問 10-1【1.結婚せず(パートナーを持たず)、仕事を続けると回答した方におたずねします】あなたが、将来結婚しないと思う理由について、あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) (回答数:260 件)

図表 2-14 将来結婚しないと思う理由

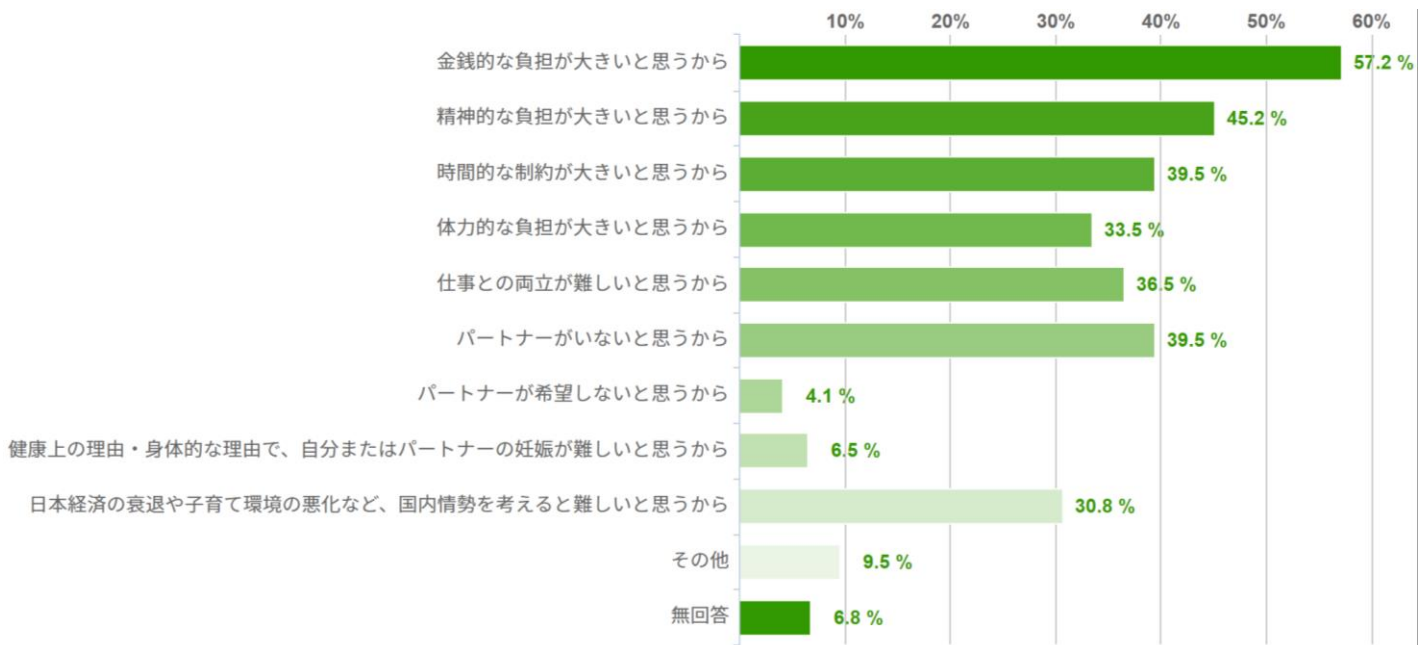


(4) 子どもを希望しない理由

実際になりそうな生き方で、子どもは持たない選択肢を選んだ方に、子どもを希望しない理由について尋ねたところ、「金銭的な負担が大きいと思うから」が最も多く 57.2%、次いで、「精神的な負担が大きいと思うから」が 45.2%、「時間的な制約が大きいと思うから」が 39.5%、「パートナーがいらないと思うから」が 39.5%となっている。

問 10-2【1.結婚せず(パートナーを持たず)、仕事を続ける、2.結婚する(パートナーを持つ)が子どもは持たず、仕事を続けると回答した方におたずねします】あなたが、子どもを希望しない理由について、あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも) (回答数:367 件)

図表 2-15 子どもを希望しない理由

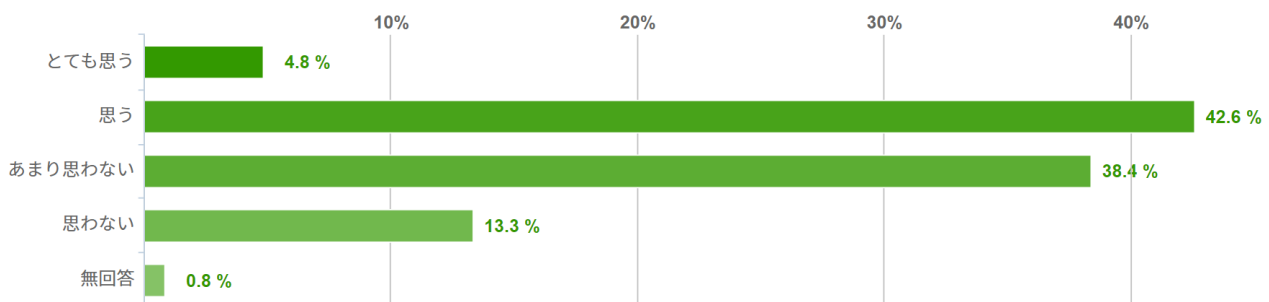


(5) 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっているか

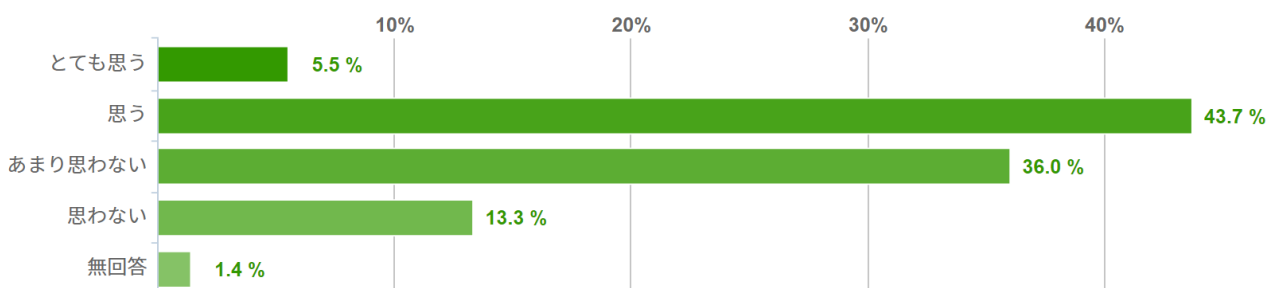
藤沢市について、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思うかを尋ねたところ、「とても思う」と回答した割合は4.8%、「思う」と回答した割合は42.6%、合計して47.4%となっている。未婚と回答した方に着目してクロス集計を行ったところ、「とても思う」「思う」を合計した割合は49.2%となっている。子どもはいると回答した方に着目してクロス集計を行ったところ、「とても思う」「思う」を合計した割合は47.4%となっている。

問11【すべての方におたずねします】藤沢市について、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思いますか。あてはまる選択肢を1つ選んでください。(1つだけ) (回答数:1,320件)

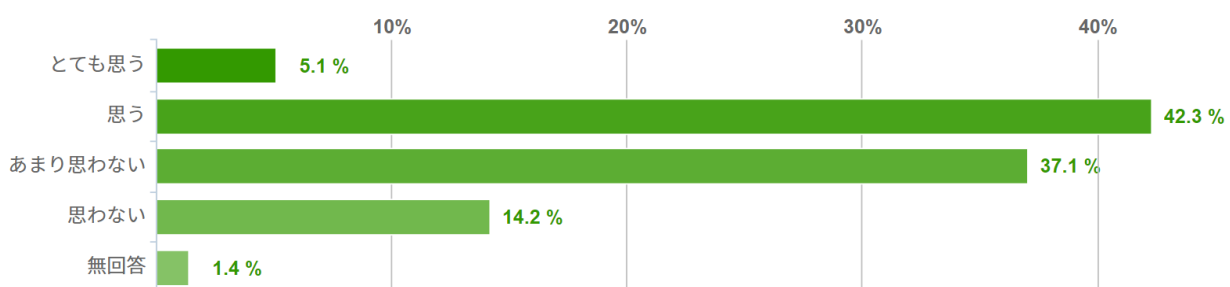
図表 2-16 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっているか



図表 2-17 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっているか
(問3で未婚と回答した方 回答数 652件)



図表 2-18 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっているか
(問4で子どもがいないと回答した方 回答数 804件)

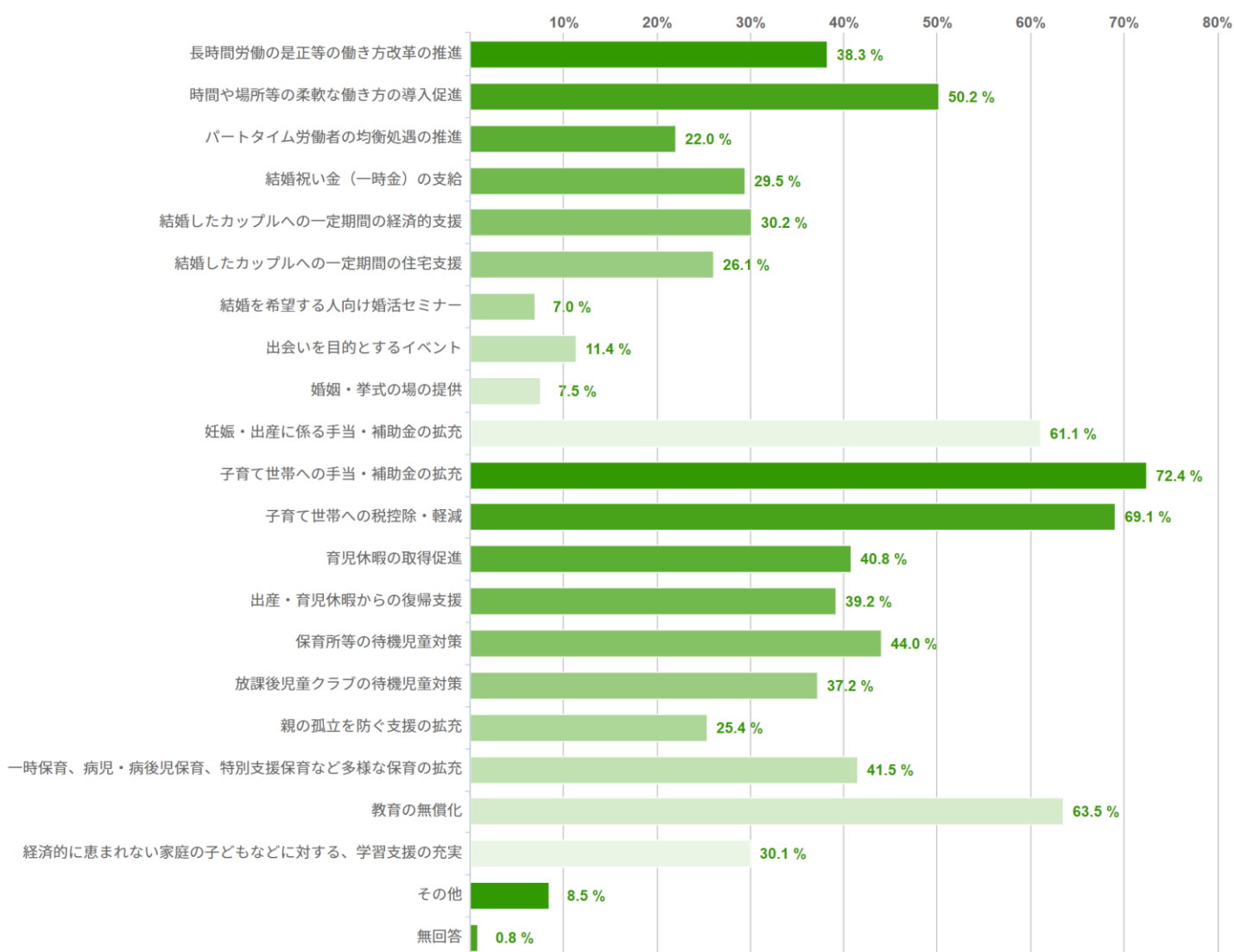


(6) 少子化への対応として政府や地方自治体を実施して欲しい政策

少子化への対応として、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい社会になるために、政府や地方自治体を実施して欲しい政策を尋ねたところ、「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が最も多く72.4%、次いで、「子育て世帯への税控除・軽減」が69.1%、「教育の無償化」が63.5%となっている。

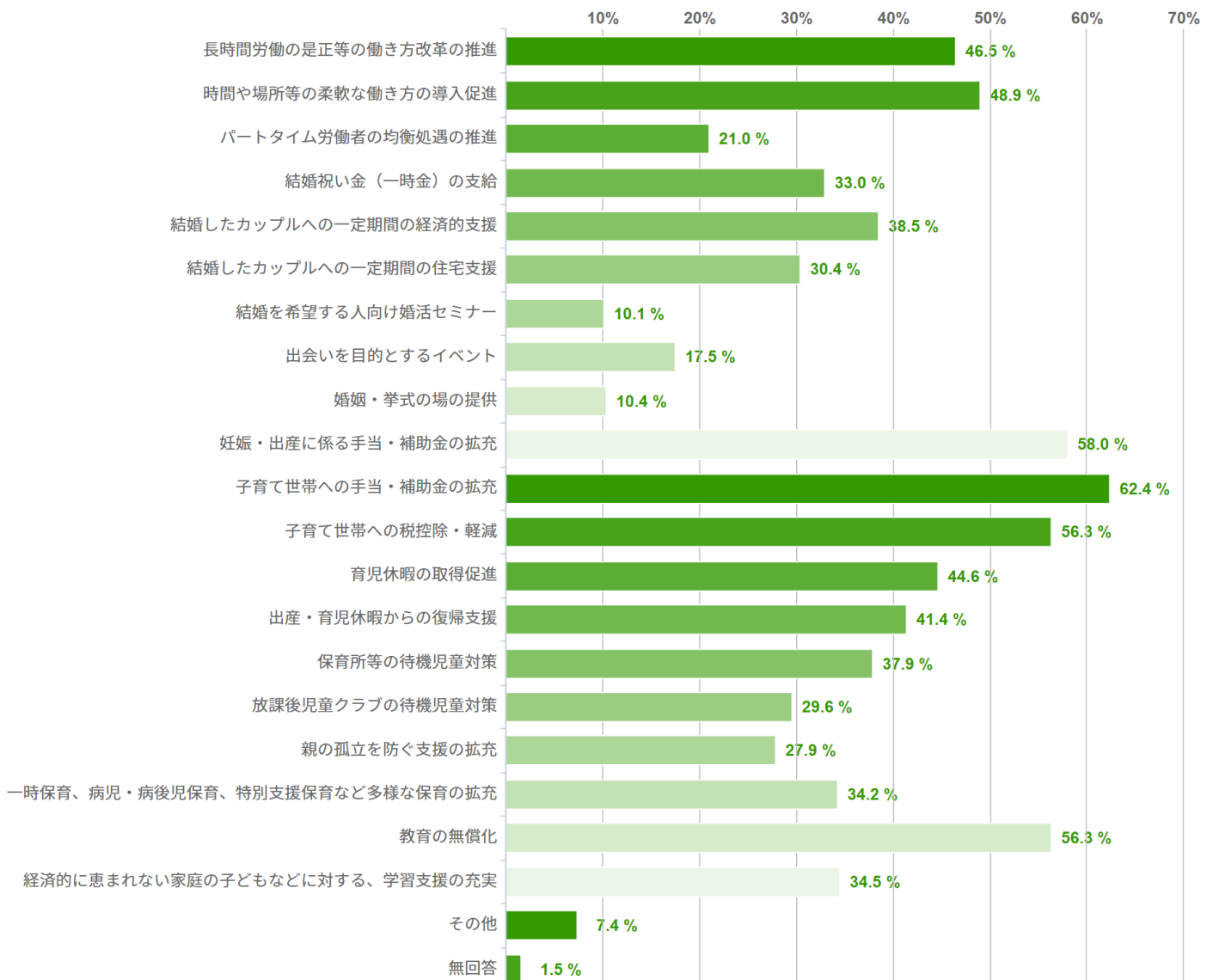
問12【すべての方におたずねします】少子化への対応として、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい社会になるために、政府や地方自治体を実施して欲しい政策はなんですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつかでも) (回答数:1,320件)

図表 2-19 少子化への対応として政府や地方自治体を実施して欲しい政策 (回答者全体)



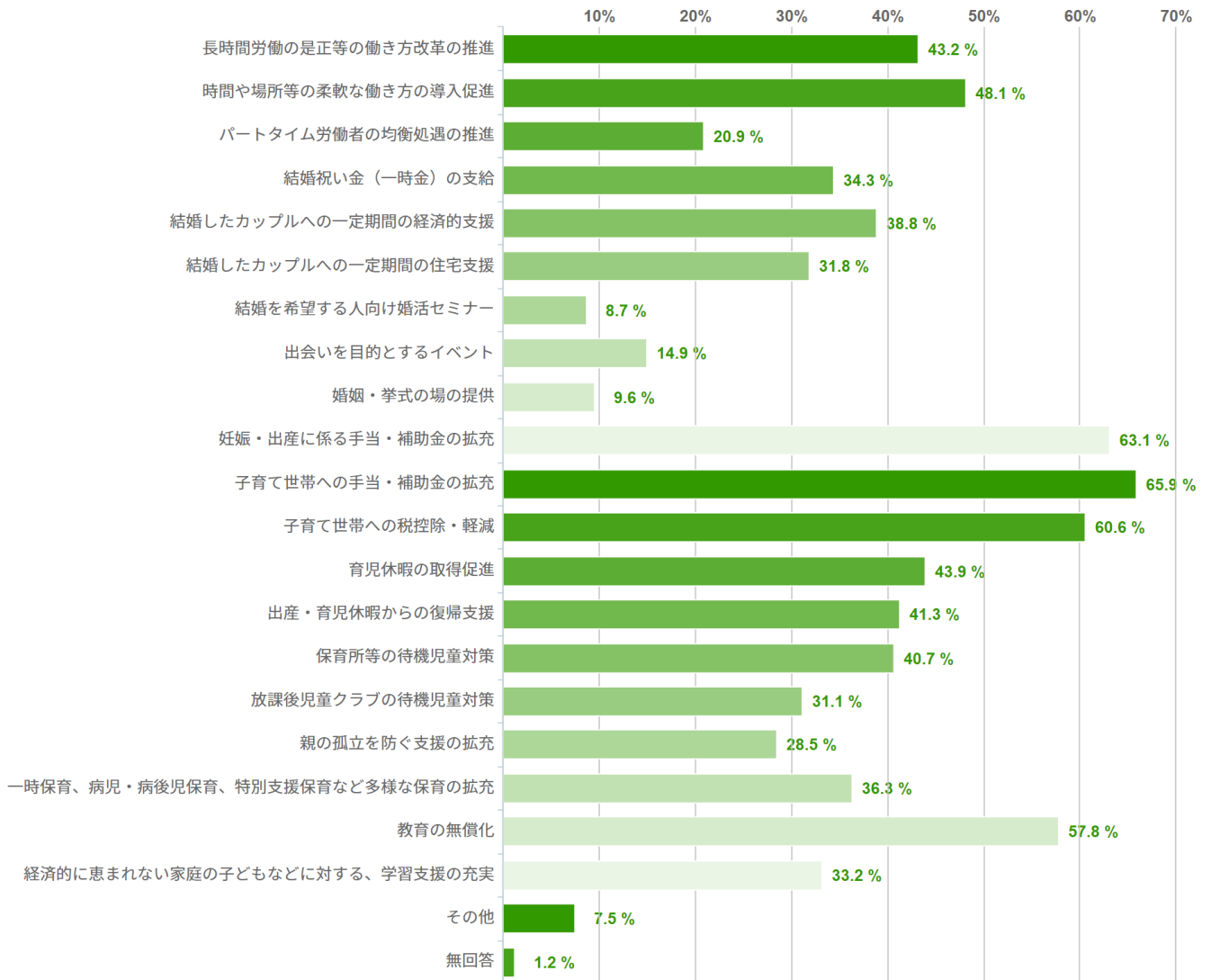
問3で「未婚」を選択した方について、少子化への対応として、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい社会になるために、政府や地方自治体を実施して欲しい政策の回答結果をみると、「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が最も多く62.4%、次いで、「妊娠・出産に係る手当・補助金の拡充」が58.0%、「子育て世帯への税控除・軽減」が56.3%、「教育の無償化」が56.3%となっている。

図表 2-20 少子化への対応として政府や地方自治体を実施して欲しい政策
(問3で未婚と回答した方 回答数 652件)



問4で「子どもはいない」を選択した方について、少子化への対応として、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい社会になるために、政府や地方自治体を実施して欲しい政策の回答結果を見ると、「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が最も多く65.9%、次いで、「妊娠・出産に係る手当・補助金の拡充」が63.1%、「子育て世帯への税控除・軽減」が60.6%、「教育の無償化」が57.8%となっている。

図表 2-21 少子化への対応として政府や地方自治体を実施して欲しい政策
(問4で子どもがいないと回答した方 回答数 804 件)



4 調査結果のまとめ

(1) 回答者の属性・基本情報について

- 回答者の年齢について、「30歳～34歳」が最も多く25.5%、次いで、「35歳～39歳」が24.9%、「25歳～29歳」が19.2%となっている。
- 回答者の性別について、「女性」が58.7%、「男性」が40.3%となっている。
- 回答者の婚姻状況について、「未婚」が最も多く49.4%、次いで「配偶者あり」が48.8%となっている。
- 子どもの有無と、子どもがいる場合にその人数を尋ねたところ、「子どもはいない」が最も多く60.9%、次いで、「1人」が18.8%、「2人」が16.4%となっている。
- 回答者の現在の仕事を尋ねたところ、「正規の社員・職員・従業員」が最も多く56.0%、次いで、「学生・生徒（予備校生などを含む）」が21.1%、「パート・アルバイト」が7.6%となっている。

(2) 日頃の意識と生活について

- 回答者に最近の生活の満足度を「0（まったく満足していない）」から「10（十分に満足している）」の11段階で尋ねたところ、0から4と回答した割合（生活満足 低位と定義）は18.0%、5か6と回答した割合（生活満足 中位と定義）は25.8%、7から10と回答した割合（生活満足 高位と定義）は55.0%となっている。
- 回答者が居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）と感じる場所について尋ねたところ、「家庭（実家や親族の家を含む）」が最も多く73.7%、次いで、「自分の部屋」が60.9%、「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」が24.2%となっている。なお、「ほっとできる場所はない」と回答した割合は3.0%となっている。
- 回答者自身について「自分のことが好きだ」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が15.8%、「思う」が49.2%となっている。
- 回答者自身について「自分の将来が楽しみだ」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が14.4%、「思う」が43.0%となっている。
- 回答者自身について「孤独だと感じることもある」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が5.2%、「思う」が25.4%となっている。
- 回答者自身について「自分は価値のある人間だと思う」にあてはまるかを尋ねたところ、「とても思う」が14.3%、「思う」が43.0%となっている。

(3) 結婚、子育て、仕事に関する意識について

- 子育てと仕事との関係で理想の生き方を尋ねたところ、「結婚し、子どもを持ち、仕事を続ける」が最も多く 52.6%、次いで、「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 20.9%、「結婚する（パートナーを持つ）が子どもは持たず、仕事を続ける」が 9.3%となっている。
- 子育てと仕事との関係で実際になりそうな生き方を尋ねたところ、「結婚し、子どもを持ち、仕事を続ける」が最も多く 51.8%、次いで、「結婚せず（パートナーを持たず）、仕事を続ける」が 19.7%、「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 13.9%となっている。
- 理想と実際になりそうな生き方の回答割合を比較すると、「結婚せず（パートナーを持たず）、仕事を続ける」の選択肢を回答した割合が、理想が 7.2%であるのに対して、実際になりそうな生き方は 19.7%と 12.5 ポイント多くなっている。
- 実際になりそうな生き方で、結婚せず（パートナーを持たず）、仕事を続けると回答した方に、将来結婚しないと思う理由について尋ねたところ、「恋人・パートナーがいないから/見つからないと思うから」が最も多く 69.6%、次いで、「1人である方が、精神的な負担が少ないから」が 59.6%、「自由を失いたくないから」が 43.1%となっている。
- 実際になりそうな生き方で、子どもは持たない選択肢を選んだ方に、子どもを希望しない理由について尋ねたところ、「金銭的な負担が大きいと思うから」が最も多く 57.2%、次いで、「精神的な負担が大きいと思うから」が 45.2%、「時間的な制約が大きいと思うから」が 39.5%、「パートナーがいないと思うから」が 39.5%となっている。
- 藤沢市について、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思うかを尋ねたところ、「とても思う」と回答した割合は 4.8%、「思う」と回答した割合は 42.6%となっている。「未婚」と回答した方に着目してクロス集計を行ったところ、「とても思う」「思う」を合計した割合は 49.2%となっている。「子どもはいない」と回答した方に着目してクロス集計を行ったところ、「とても思う」「思う」を合計した割合は 47.4%となっている。
- 少子化への対応として、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい社会になるために、政府や地方自治体を実施して欲しい政策を尋ねたところ、「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が最も多く 72.4%、次いで、「子育て世帯への税控除・軽減」が 69.1%、「教育の無償化」が 63.5%となっている。「未婚」と回答した方、「子どもはいない」と回答した方に着目してクロス集計を行ったところ、「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が最も多く、次いで「妊娠・出産に係る手当・補助金の拡充」、「子育て世帯への税控除・軽減」、「教育の無償化」が多く回答されている。

藤沢市若者世代の結婚・子育てに関する意識調査報告書
2024年(令和6年)8月

発行: 藤沢市 子ども青少年部 子育て企画課